

龍谷大学校友会

山口県支部だより

第7号

龍谷大学校友会
山口県支部
山口市小郡花園町3-7
本願寺山口別院内

令和3年度の 主な活動報告

2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症が広がり始めた時期で、総会を「支部だより」紙面での書面採決としたことから、実質的に総会の開催はできませんでした。2022(令和3)年度も、緊急事態宣言下での東京オリンピック開催など大変厳しい状況が続いており、当支部の総会も通常の形式での開催は困難、理事会においても前年度に続き書面採決による総会もやむを得ないという提案もありましたが、実際に総会を開催して当支部からの情報発信をすべきではないかという意見もあり、開催方法について協議を行った結果、最初は実際に総会の会場に集まる方と、Zoomを通じてオンラインで参加される方の両方の「ハ



支部総会部分のようす

イブリッド形式」で開催の開催に向けて準備を進めていましたが、万が一感染状況がさらに悪化して、結果、開催直前に中止せざるを得ないことは避けたかったこと、そしてZoomの場合、同時に使用できる人数に上限があることから、より多くの会員の皆さまに参画していただけて10月16日から11月30日

までの期間で初めての試みとなる動画配信による総会を開催しました。

内容は、当支部の理事が集まって、総会の部分では20

20(令和2)年度の活動と決算の報告、監査報告、2021(令和3)年度の活動計画と

予算の報告を行い、続いて龍Ron小町のご案内、そして2019(令和元)年に龍谷奨励賞を受賞された当支部の

会員、大來尚順さんより「発想の転換 外国語から生部ブツダの教え」のテーマで記念講演が行われました。講演では、たとえば「いただきます」

など私たちが普段、何気なしに使っている言葉の意味をあらためて考えさせられる機会ともなりました。

収録では、当支部の事務局がある本願寺山口別院の機材をお借りしましたが、特別な機材を使用しなくても

もホームビデオがあれば十分対応が可能で、動画編集の際も様々なソフトウェアがあります

が、高額で多機能なものよりは入門用の方が初めて使う分にはかえって扱いやすかったと感じました。

対面での開催が望ましい部分もありますが、より多くの会員の皆さまに参画していただけるよう、オンライン形式での参加も選択肢の一つとして継続していきたいと考えています。

(久保史生)



記念講演 大來尚順 氏による
「発想の転換:外国語から学ぶブツダの教え」

ほぼ、1日、いわばぶつつけ本番のような感じでの編集となりましたので、あとから確認すると間合いが長すぎるなどと、ぎこちない部分もありましたが、動作の確認など時間をかけて丁寧に行えば問題を改善することができたのではないかと考えています。

対面での開催が望ましい部分もありますが、より多くの会員の皆さまに参画していただけるよう、オンライン形式での参加も選択肢の一つとして継続していきたいと考えています。

母校の近況報告
校友の皆さまには「ホームカミングデー」で、久しぶりに訪れた深草学舎の様子がすっかり変貌していることに驚かれたことでしょうか。特に、深草学舎で学生時代を過ごされた皆さんには、かつての13号館や14号館・15号館といった校舎がなくなつて淋しく感じられたかもしれせん。
さて、コロナ禍の中で、学術文化系サークルの課外活動拠点でもあり、生協などの入っていた深草「学生会館」が、2020(令和2)年春に、地上5階地下1階の「成就館」となつて学友会館跡地に誕生しました。
成就館は、大学の正課及び



Google2022

2020(令和2)年に誕生した成就館

課外活動だけでなく、卒業生や保護者、本学関係者の交流・連携及びボランティア活動等による持続可能な社会形成に寄与することが目的とされており、校友の皆さまも利用可能です。

大小さまざまな部屋だけでなく、150名が入れるシアターホールも完備しています。中でも目を引くのが、その独特の外観です。

飯田善彦建築設計工房による設計は近未来的です。1階にダイニングカフェ「Café Ryukoku &」や「En Square」があります。En Squareでは、「龍谷マーケットプレイス」と称し、実習科目やゼミ活動、企業等とのコラボレーションで生まれた商品や試作品を販売。連携企業とのコラボ企画なども展開しています。

今後、深草学舎は開学40年へ向けて益々その姿を変えて行く予定です。最後に最新情報の一つ。2023(令和5)年4月に十一番目の学部(短大含む)が誕生します。文学部臨床心理学科を改組し、「心理学部」が新設されるのです。是非、お子さんやお孫さんにも入学を

お勧めください。
(武田 晋)

令和四年度全国校友大会 in 京都に参加して



お勧めください。

(武田 晋)

2022(令和4)年7月2日(土)全国校友会大会・京都に参加して参りました。全国各地から、校友とそのご家族が約400人を超えて集結です。壮大な赤レンガの正門を前に、胸がドキドキ高鳴ります。ガラスに囲まれ開放感あふれる円形の「カフェ樹林」や、レンガで統一され美しく発展を続けるキャンパス。おまけにスターバックスまであるのですから、ビックリの連続です！
受付(京都市支部の皆様が

ご担当)を済ませ、開会式までの間は学生スタッフによるキャンパスツアーに参加。図書館や和顔館等、深草キャンパスの今を見聞させていただきました。昼食は学生お勧めの成就館にあるカフェにて、瀬田キャンパス農学部産の野菜たっぷりプレートを。美味でお洒落。現役学生と卒業生の素敵な交流となりました。

当日の京都市最高気温は、38.6℃という猛暑日。開会式は当初、中央広場に広がるエントランスデッキで開放的に行う予定でしたが、危険な暑さと判断され、急きょ眞真館へ大移動することに。かつて京都で走っていた市電の軌道石を再利用したという情緒ある石畳を進み、正面の平山郁夫画伯の陶板画「祇園精舎」を幻想的に掲げる礼拝堂は、変わりゆく母校の中に在り泰然と迎えてくれました。

今回の大会は、11の散策コースが企画されており(詳細は校友会ホームページをご参照ください)どれも「龍大ってやっぱり凄いなあ」と思う



コースばかり。日本酒好きなら私を選んでのは「伏見酒蔵と寺田屋散策コース」。こちらは二台のバスに分かれて出発するほど大人気。月桂冠大倉記念館では、西岡館長に丁寧なご案内をいただきました。炎天の伏見に館長の涼しい声。なんと、館長も龍大卒業生と知り、月桂冠へ愛着がより湧いてくる。試飲も進むというものだ。いい気分でお土産を買い、宅配代金を払ってしまつた私は、手がちぎれるんじゃないか？と思うくらい重たい日本酒を抱え、次の寺田屋巡りへ歩くことになる。(宅配代金はケチるもんじやない・笑) 古美術研究会 O B O G による寺田屋

ガイド。一つの大きなプロジェクトだ。各方面で活躍される校友の姿は眩しく、私も活力をいただきました。

京都駅に降り立った時、そして龍大の正門を前にした時、私は心で「ただいま！」と呟いた。ここは私にとっていつまでも癒やされ、落ち着く場所「心のふるさと」なのだろう。

校友と懐かしさや思い出を語り、そして龍大を想うことで、私たちの心のふるさと「龍谷大学校友会」を盛り上げて参りましょう。今後ますますのご発展をお祈りします。
(松田祥子)

龍谷大学の卒業生向けのご好意からの特典情報を募集しています！

龍谷大学校友会会員限定の優待特典を校友会ホームページでお知らせしませんか？

世界中、龍谷大学校友会員の皆様の交流活動

性につながる

ばと思います

取材にお伺い
します。情報
のご提供はこ
ちらまで。



連絡用 QR コード